

September
2015

The Record

vol.670

日本全国音楽のまち～高崎編～

サンフランシスコにて「J-POP SUMMIT 2015」開催



®

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集 日本全国音楽のまち～高崎編～	3
特報 サンフランシスコにて 「J-POP SUMMIT 2015」開催.....	10
ヒットの裏側	11
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC	14

7/18

「出張！IPカルチャー教室」で 真正品・模倣品の比較展示を実施

7月18日、東京都中央区の教育センターにて「出張！IPカルチャー教室」が開催された。同イベントは、東京都中央区教育委員会からの依頼を受けて、公益社団法人発明協会が幹事を務める国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）が主催しているものである。中央区教育委員会が、毎年夏休みに開催している小学校科学教室の一コマとして実施しており、今回は中央区内の小学5年生および保護者、計26名が参加した。

当日は、4名の弁理士による電子紙芝居にて「発明とは何か」「発明は身近に存在していること」「知的財産の大切さ」などを実際の商品を用いながらわかりやすく説明した。併せてクイズ形式で参加者が知的財産の大切さを楽しく学んだ。また、親子と一緒に参加する工作教室ではテレビ台等に使用される回転台の制作を行った。内部構造を想像しながらの作業となり、創造力を働かせ知的財産マインドの醸成を図ることができるとして、参加者をはじめ関係者からも好評を博した。

併せて実施された「真正品と模倣品・海賊版」の展示では、当協会はIIPPFメンバーとして、ハンドバックや時計、玩具等と並び、CD・DVDの真正品・



模倣品の提供を行った。訪れた親子は真正品と模倣品の見分け方や品質の違い等について、品物を手にとり熱心に比較をしていた。

7/28

日中著作権セミナー開催

7月28日、文化庁と中国国家版權局が主催する「日中著作権セミナー」が、東京都千代田区のホテルニューオータニにて開催された。第1セッションでは段玉萍 版權管理司副司長より「中国における著作権法改正の動向について」、続く第2セッションでは鄭曉飛 版權管理司執法監督処副処長より「中国政府によるネットワーク上の海賊版撲滅の主な措置について」、永野行雄 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）常務理事より「CODAの著作権侵害対応と正規流通促進への取組について」と題し、講演が行われた。中国からの出席者に加え日本の関係省庁、著作権関係団体やレコード会社等より約90名が出席し、インターネット上における著作権侵害への日中の対策等に関する講義に耳を傾けた。

なお、同日午後には中国国家版權局の段玉萍 版權管理司副司長他6名が当協会を来訪し、当協会の違法対策や集中管理業務について畑陽一郎理事・事務局長からの説明を受けた。加えて現在、中国で実施されているネットワー



このエールマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

ク上の海賊版等撲滅の集中取締り「剣網行動 2015」についての質疑応答を行ったほか、中国の権利侵害サイトへの対策に関し当協会が抱える課題を説明し、今後の協力体制のあり方等について討議した。

7/28 ISUMブライダルミュージック アワード2015開催

7月28日、一般社団法人音楽特定
利用促進機構(以下、ISUM)は、「2015

年、結婚式で最も人気の楽曲／アーティスト」を決定する「ISUMブライダルミュージックアワード2015」を開催した。「ISUMブライダルミュージックアワード」は、ブライダルシーンにおける楽曲にかかる著作権・著作隣接権をより多くの方々に理解していただき、音楽と結婚式が深く結ばれることを趣旨としており、その一環として「結婚式で最も人気の楽曲・アーティスト」を表彰するものである。今回の授賞楽曲およびアーティストは、男性部門が『ひまわりの約束』の秦基博さん、女性部門が『永遠』のBENIさんに決定した。

当協会および当協会会員社は ISUM の提供する、結婚式における楽曲の権利処理スキームに協力を行っている。



「第 22 回日本プロ音楽録音賞 2015」開催決定

一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構および当協会の5団体が主催する「第 22 回日本プロ音楽録音賞 2015」の開催が決定した。

同賞は、音づくりを通じて音楽とオーディオ文化の向上に努める、録音エンジニアの感性と技術を評価し、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めることにより、音楽とオーディオ産業のソフト分野における一層の技術の向上ならびに録音エンジニアの地位の確立を目指すものである。

日本国内において企画され、2014年9月1日から2015年8月31日までの間に初めて発売、または公に放送・配信された音楽録音作品が審査の対象となる。

【応募作品の分類および授賞区分】

CD 部門 : クラシック、ジャズ、フュージョン／ポップス、歌謡曲 (いずれも CD)

ハイレゾリューション部門 : 2ch ステレオ : ジャンルを問わず / マルチ ch サラウンド (いずれも SACD、DVD、BD & ノンパッケージ作品)

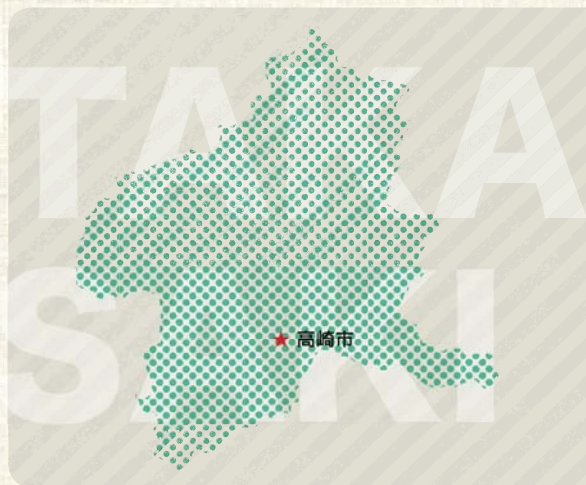
放送部門 : 2ch ステレオ (ラジオ番組 : AM、FM、衛星放送) (テレビ番組 : 地上波、衛星放送)
: マルチ ch サラウンド (テレビ番組 : 地上波、衛星放送)

ベストパフォーマー賞 : CD 部門、ハイレゾリューション部門の全応募作品よりベストパフォーマーを選定

新人賞 : CD 部門、ハイレゾリューション部門の全応募作品より選定 (ただし、応募時年齢 35 歳までのミキシング・エンジニアによる作品を対象とする。)

日本全国音楽のまち ～高崎編～

多くの地方自治体が地域おこし・まちづくりに取り組む中、まちづくりに「音楽」の要素を取り入れた地域にスポットを当てながら、地域と音楽を愛する人々、ユニークな施設や事例を紹介するシリーズ第2回。今回は、群馬県高崎市にフォーカスし、今日までの、そして新たな高崎発の音楽に関する取り組みを紹介する。



面積：459.16平方キロメートル

人口：375,407人（2015年7月31日時点）

高崎市は群馬県の西部に位置し、古くから交通の要所として商業が発達。

★高崎のこんな名物★

- **だるま** 高崎と言えば何と言ってもだるま。至るところで目にする事ができる。高崎のだるまの発祥とされる少林山達磨寺では、全国各地のだるまが展示されている。
- **パスタ** 群馬はその気候から、全国でも有数の小麦粉の産地。うどん消費量は香川に次いで2位などと、粉ものの食文化が発達している。なかでも高崎は、人口当たりのパスタ店が全国屈指であることからパスタのまちとしてPRを行っており、味と魅力を競い合うイベント等も実施されている。



多胡 邦夫

(作曲家・音楽プロデューサー)

対
談

富岡 賢治

(高崎市長)

10年、20年先の豊かな 音楽の果実を求めて

高崎市では、2013年度より「高崎サウンド創造活動」に取り組んでいる。同市は、その拠点となるレコーディングスタジオを新設、運営責任者を務める高崎市在住の作曲家・音楽プロデューサーの多胡邦夫氏の名前を冠し、「TAGO STUDIO TAKASAKI」として、2014年3月にオープンした。世界的にも珍しい、行政によるレコーディングスタジオはどのように生まれ、何を目指していくのか。同スタジオにて、高崎市の富岡賢治市長と多胡邦夫氏に、語り合っていた。

■ 音楽への情熱が共鳴した

— 高崎市が進める「高崎サウンド創造活動」プロジェクト、そして推進拠点となるここ「TAGO STUDIO TAKASAKI」は、どういう経緯でできたのでしょうか。

富岡 底流には、高崎市が育ててきた「音楽のある街」の文化があります。これは、高崎市を本拠に、昭和20年に誕生した群馬交響楽団を中心とするクラシック系が主でした。そんな環境の中で私は、「音楽のある街」をさらに発展させたいと考えました。

そこではクラシックももちろんですが、ロックも推進したいと思いました。理由の一つには私自身、プレスリーはじめロックが大好きだったという思いがあります。アメリカのメンフィスは、プレスリーの故郷として名所になり、イギリスのリバプールは、ザ・ビートルズの活動場所として、彼らのレコーディングスタジオを含めて世界の音楽の聖地の一つになっている。高崎市をそんな街にできないかと考えたわけです。また、地方都市である高崎市を活性化するには、若い人の力が不可欠です。そこで特に若い人に人気のロックを支援する文化政策がよいのではないかという思いもありました。そして重要なのが多胡さんとの出会いです。高崎市出身の、素晴らしい作曲家・音楽プロデューサーの彼と話すうち、夢が膨らみました。

多胡 私は、20歳までギターを背負って高崎でバンド活動をしていました。当時、プロになるには東京に出るしかなかったのですが、その頃も「音楽のある街」らしく、高崎市内のイベント、祭に数多くステージを用意していただけた。そこで後押しをもらい、経験を積んでプロになれました。だからこそ故郷に恩返ししたかったんです。一方、日本の音楽業界は今、現場の予算が削られる中、生楽器の音を打ち込みで済ませるケースが多々あります。選択肢の一つとしてデジタルを採用するのはよいのですが、本来は生演奏でやるべきサウンドまで、そうになってしまう状況は残念です。このままでは人間の情熱を閉じ込める音楽は、生まれなくなるんじゃないかと危惧していました。故郷に貢献したい思いを抱えつつ、ここでレコーディングスタジオはできないかな、市がバックアップしてくれないかなと漠然と考えていた時、富岡市長と出会えました。

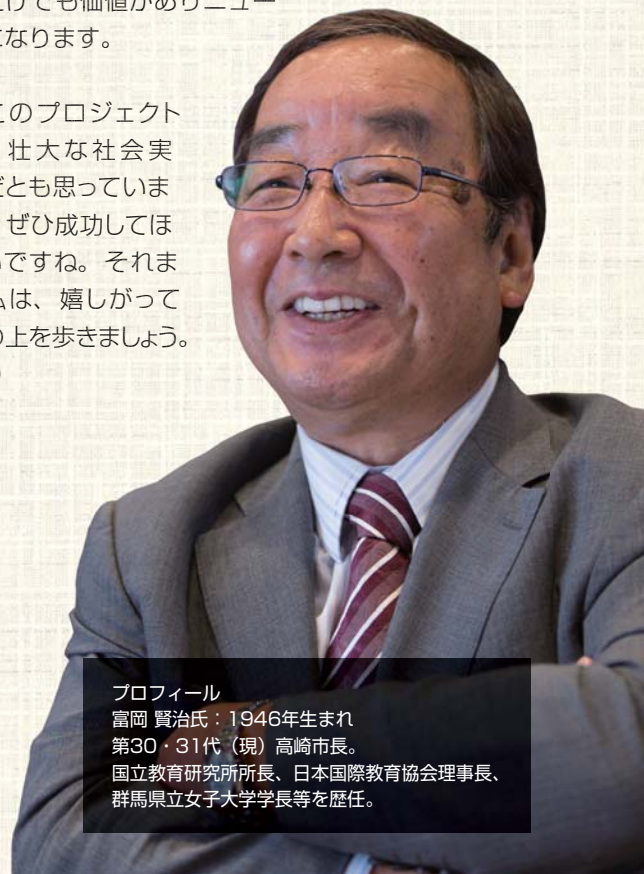
富岡 まさに、イメージががち合いましたよね。私が、若者のロックの拠点を作りたいと話したら、多胡さんも街のためにやりたいと、志を語ってくださった。

多胡 二つ返事です。私のイメージもしっかり受け止めていただけました。

富岡 でもね、私にとっては危ない橋を渡り、塀の上を歩くことでもあるんですよ。クラシックの拠点整備なら、あまり市民からの批判はないでしょう。でもロックに悪いイメージを持つ人もいます。民間事業としてスタートし、行政がそれを応援するのが手堅いかな、とも思いました。ところが走り出すと市民の中に、反対意見ではなく「市が正面から取り組んでみたらいいじゃないか」という声も多かった。そこで勇気が出て、多胡さんの情熱にも応え、市が主体となる施設としてプロ向けのレコーディングスタジオを作ることにしました。こうして「リバプール・サウンド」「メンフィス・サウンド」のように、新スタジオを拠点に、高崎から若者たちが独自のロック音楽を生み出して、新たなムーブメントを作っていくとする「高崎サウンド創造活動」が、スタートしたわけです。

多胡 民間でやるのは珍しくありません。私は、市がやるのが重要だと考えました。市が作るプロ仕様のレコーディングスタジオは、世界でも類を見ない。それだけでも価値がありニュースになります。

富岡 このプロジェクトは、壮大な社会実験だとも思っています。ぜひ成功してほしいですね。それまで私は、嬉しがって塀の上を歩きましょう。(笑)



プロフィール

富岡 賢治氏：1946年生まれ
第30・31代（現）高崎市長。
国立教育研究所所長、日本国際教育協会理事長、
群馬県立女子大学学長等を歴任。

■ 革新的な「口出ししない行政」と「音楽で返していただく」発想

— 壮大な実験というお話ですが、スタートして1年、反響はいかがですか。

多胡 このスタジオは、プロ・ミュージシャンの利用を前提に工夫を凝らしています。中途半端なものは作るまい、超一流ミュージシャンにも、「素晴らしいね」と言ってもらえる環境を追求しています。最新鋭の機材に加え、プロ・ユースで好まれるビンテージ機材もカバーできるよう、行政にも配慮していただきました。新品だけだとプロは絶対に来ませんから。たとえばマイクは、ビートルズが活躍していた頃のビンテージ物もそろえ、またピアノなど、ひとつひとつの楽器にもこだわり抜いています。

当初は、ユーザーに「行政施設だから大したことないんじゃないか」という意識があるのを感じました。でもご利用いただくと、「本気のスタジオだね」と非常に驚かれ、喜ばれます。吸音材を使用していないので、海外のスタジオのような響き音が得られるとの評価もよくいただきます。ジャズやクラシックなど、ジャンルを問わない利用も多い。また、1階をスタジオ

にして、2階にはリラックスできるカフェラウンジも設けました。「音楽に集中できるスタジオは多いけれど、リラックスもできる場所はなかなかないよ」と好感度が高い。確かな手応えがあり、常に2カ月先まで予約がいっぱいな状況で、ありがたいですね。

プロフィール
多胡 邦夫氏：1973年生まれ
作曲家・音楽プロデューサー。
浜崎あゆみ、hitomi、Every Little Thing等
多数のアーティストへ楽曲を提供。



富岡 作るときも、運営にも行政は一切口を出さず、多胡さんに任せました。文化は街の活性化につながる一大要素です。地方から文化を発信できれば、我々の想像以上の効果が見込める。そのためには、チャレンジが必要です。でも大企業のサラリーマンや公務員では、なかなか思い切った発想を持ちにくい。行政が下手に口出しすると絶対に失敗します。個性ある、枠に収まらない人に自由に活動していただくのがいい。

多胡 市長には、最初から「任せる」と言っていただきました。スタジオ名に「TAGO」を冠するのも市長のご発案で、私はすごく驚いて身のすくむ思いでした。

富岡 『高崎市立現代音楽』……みたいなネーミングじゃ、さまにならない。箱物を増やすだけではダメ。多胡さんのような人がエンジンになっていると、わかってもらわなければいけません。市議会も異議はなく、音楽に寛容な街であると改めて感じました。

多胡 革新的なのは、それだけではありません。運営面でも「音楽で対価を支払う」仕組みを導入しました。ユーザーには、何らかのかたちで高崎市に貢献していただき、貢献度合いに応じて低廉な料金プランを適用する。例えば、SNSでアーティストに高崎をPRしてもらったり、スタジオや2階ラウンジを利用したミニライブなどをやっていただいたり。こうしたライブに市民の皆さんを抽選で無料で招待し、還元しています。

富岡 May J.さんのライブを、市役所ロビーで行い大変好評でしたね。

多胡 すごいことですよ。音楽ホールじゃなく、市役所でやれたのも高崎らしい。来訪アーティストには、スタジオ通路の壁にサインもいただいています。すごい名前があるんです。

■ アーティストのファンへのアピールと、市民に親しまれる活動

多胡 スタジオを利用する皆様には、レコーディングに支障のないよう細心の注意を払った上で、写真を撮らせていただき、SNSなどで情報発信させていただきます。皆様が自由に発信なさることもあります。ヒット祈願の高崎名物のだるまや、気分転換に訪れた高崎白衣大観音をアピールしてもらったり。街の情報発信の良い機会になります。100万人のフォロワーが控えるアーティストなら、その影響力は計り知れません。実際に、京都など遠方からスタジオにお越しになったファンの方もいました。

音楽による市民への還元や、アーティストが高崎を語ることは、費用対効果で考えるとトータルでプラス効果を生むと確信しています。

富岡 ネットの不得手な市民も活動内容がわかるよう、紙媒体への発信もあるといいのですが。

多胡 実は結構あるんですよ。アーティストミニライブはその都度ニュースになります。またスタジオは、



市民還元策の一環として、小学生の社会体験学習に活用してもらっていますが、地元の新聞などでも取り上げられています。

ー小学生向けの活動とはどういったものでしょうか。

多胡 小学生の時、私は地元のパン工場に社会科見学に行きました。そこでパンの製造工程や機械を見学し、最後にアンパンをお土産もらったのが、忘れられない思い出になりました。そういう感動を、スタジオを通して届けたいと考えました。子どもたちには、普通の人は足を踏み入れられないスタジオ内で機材や工程を見学後、実際にピアノに合わせて校歌を歌ってもらい、録音してCDにして、プレゼントします。僕にとってのアンパンが、子どもたちには校歌のCDです。聴いていると、私も泣きそうになるくらい真剣に歌って、校歌ってこんなにいいものなのか、と感動しますね。

富岡 群馬交響楽団も、草の根で小中高生のための移動音楽教室（訪問コンサート）を続け、音楽文化を高崎に根付かせてくれている。こうした取り組みは、本当に大切ですね。

多胡 こうした体験を通して音楽に興味を持つ子も増えています。実際に楽器に興味を持って始めた子もいると聞き、嬉しくなりました。街で「子どもがお世話になりました」と父兄から声を掛けられることもあり、手応えを感じます。

■ 若者にチャンス在一次世代につながる活動へ

富岡 高崎市では、路上ライブをやる若者もいます。彼らに対し、市内のライブハウスで活動し、腕を磨き、最終的にこのスタジオでレコーディングして、メジャーデビューを果たせるような、チャンスを与えられればと思っています。

多胡 この地からスターを生み出して、市長のいうリバープールのような街にすることは大きな目標です。構想段階ですが、若者が集まるオーディションのフェスティバルを地元で開催し、優秀者をこのスタジオ

でレコーディングし、世に送り出す計画もあります。

ー「高崎音楽祭」「高崎マーチングフェスティバル」をはじめとして、高崎には多くの音楽イベントがありますが、他イベントとのコラボレーションなどもあるのでしょうか。

富岡 それも多胡さんにお任せして、いい方向にいくと思います。

多胡 市内のライブハウス主体のイベントの運営本部に、2階ラウンジを使ってもらうなど良好な関係を築きつつあります。

富岡 2階ラウンジは、市民にも親しまれ人気がありますね。

多胡 キッズルームも備え、小中高生から子連れのお母さん方、バンド小僧まで多種多様な人が憩いに来ます。市民にとってはちょっとお洒落な公民館、のような位置付けでしょうか。私は、ラウンジで宿題をする高校生のBGMに、ビートルズやストーンズ、エアロスミスの曲が流れる風景が好きです。

—2018年度には「高崎文化芸術センター(仮称)」も建設予定です。

富岡 主にクラシックの拠点になりますが、群馬交響楽団の音楽監督・指揮者の大友直人さんとの協力で、スタジオとのコラボレーションが進むと面白いと思っています。

—ほかに海外のフェスティバルとのコラボレーションもお考えだそうですね。

多胡 日本のスタジオ技術や環境は世界屈指のレベルです。日本のアーティストが、良い環境を求めて海外でレコーディングをするように、世界で名を挙げ、いろんな国のアーティストに日本のスタジオを使っただけであればと思います。始まってまだ1年ですが、「高崎サウンド創造活動」は先進的で可能性あるプロジェクト。10年先、20年先に大きな実を結べるよう、これからもチャレンジしていきますよ。

富岡 私も政治生命をかけていますので、ぜひとも頑張っていたきたいと思います。



Pick Up!!

TAGO STUDIO TAKASAKI

昨年3月にオープンした、高崎市が多胡邦夫氏と共に整備を進めてきたレコーディングスタジオ。レコーディングスタジオは、音楽を通じて高崎市のPRに協力することを条件に、プロミュージシャンおよび選抜されたアマチュアミュージシャンに対し、最高水準のレコーディング環境を低廉な料金で提供するユニークなシステムを採用している。

入場無料の2階市民ラウンジは、キッズコーナーやカフェが併設され、スタジオ利用者のみならず、市民の憩いの場となっている。

群馬県高崎市あら町5番地3 ●JR「高崎駅」西口徒歩5分

1F:レコーディングスタジオ 2F:事務所、受付、市民ラウンジ他

市民ラウンジ営業時間:11時~20時 定休日:毎週月・火曜日(祝祭日の場合、翌水曜日)・12月29日~1月3日

URL:<http://tagostudio.com/> Facebook:<https://www.facebook.com/TAGOSTUDIOTAKASAKI>



外観とレコーディングルームの一部には浅間山の溶岩が使用されている。



ビンテージテイストのインテリアが印象的な市民ラウンジ。試聴コーナーやキッズスペース、軽食の販売スペースも。



イタリアのピアノメーカー・Fazioliのピアノを採用。ハービー・ハンコックなどの世界的ピアニストの直筆サインが寄せられている。



コントロールルーム

高崎の文化を紐解く～市民から湧き出す文化の泉～

高 崎の芸術文化を語る上で、その多くが市民発であることに気づく。「音楽のある街」をアピールする高崎だけあって、高崎では実に多様な音楽イベントが活発に行われている。例えば、1990年から始まった高崎音楽祭⁽ⁱ⁾、高崎マーチングフェスティバル⁽ⁱⁱ⁾は、いずれも市民による実行委員会が運営し、市がバックアップを取る体制となっている。いずれのイベントもその規模は大きく、国内外から著名なアーティストやバンドを招聘して開催されることから、高崎市民以外のファンも多い。

また、今年で創設70周年を迎える群馬交響楽団⁽ⁱⁱⁱ⁾（以下、群響）の前身は、楽員8名からなるアマチュア楽団・高崎市民オーケストラであった。高崎市民オーケストラの誕生は、1945年の11月。敗戦から、わずか3カ月後のことである。

大 日本帝国陸軍の歩兵第15連隊の所在地でもあった高崎は、幾度もの空襲や攻撃に遭っている。決してその被害は小さいものではなかったが、『戦後のすさんだ人々の心を音楽で癒し、生活に潤いのある文化国家を目指して』市民オーケストラは結成に至ったのであった。結成の中心となった高崎市出身の丸山勝廣（1914～1992年）は、詩人・萩原朔太郎が主宰した「上毛マンドリンクラブ」に歌手として昭和初期に入団。戦中は、音楽隊として各地の病院を慰問に回っていたという。

戦時中、国の音楽に対する規制は次第に強くなり、1943年には敵性音楽とみなされた英米の楽曲やレコードが販売中止に、1944年には個人の演奏会の開催が規制され、音楽に親しむ人々やレコード会社等は活動の制限を余儀なくされていた。表立って演奏できる音楽は、戦意を鼓舞するためのもののみ。こうした時代を丸山はどう思っていたのだろうか。その心境は想像することしかできないが、食べることをままならない戦後に、いち早くオーケストラを立ち上げた理由にその答えを垣間見る。

丸山ら立ち上げメンバーが持っていたのは、「日本を音楽で元気にする」という確固たる信念であった。そこには、自由に思うまま音楽ができる時代の到来への喜びと、音楽が持つ力への信頼を見ることができる。

「高崎市民オーケストラ」はその後プロへ転向し、「群馬フィル・ハーモニーオーケストラ」、さらに現在の「群馬交響楽団」と改称。そして群響の名を全国的に知らしめたのが、1955年2月に公開された映画『ここに泉あり』（今井正 監督）の大ヒットであった。戦後の苦しい生活と戦いながら、人々へ音楽を届けるため市民オーケストラが奮闘、成長していくドラマは、群響をモデルに据え、実話を下敷きとしたものであった。

こ の映画に大いに感銘を受けた詩人・^{さいかこく}崔華國氏は、1957年に高崎市に「音楽茶房あすなる」という喫茶店をオープン。音楽茶房というその名の通り、店内でレコードを聴くことができるのももちろん、群響のメンバー等を招いての生演奏会も度々開催された。さらに金子光晴、谷川俊太郎、茨木のり子といった著名な詩人たちが参加する詩の朗読会も多数開催されていた。「あすなる」は喫茶店という枠を超え、高崎市民にとっていわば文化サロンのような存在であったという。現在の群響の本拠地となっている群馬音楽センター^(iv)は、市の予算と市民の募金からなり、1961年に建設されたものであるが、この募金活動にも「あすなる」は店頭で募金箱を設置して積極的に支援を行っていた。

1982年に惜しまれつつ閉店した「あすなる」であるが、かつて同店があった場所に、2013年、「カフェあすなる」^(v)がオープンした。カフェの運営を担うのは、高崎経済大学の学生である。学生のキャリア形成支援や中心市街地のにぎわいづくりと、かつての「あすなる」とは趣を少し変えながらも、新たな高崎市民の文化発信の拠点になることを期待されている。

(i) 音楽のある街高崎を代表する、秋の大イベント。今年は9月10日～10月16日の日程で、各種イベントを開催。<http://www.takasakiongakusai.jp/>

(ii) 今年で22回目を迎える、市民参加型のマーチングバンドの祭典。今年は10月17・18日に開催予定。<http://www.takasakimarching.com/>

(iii) <http://www.gunkyo.com/>

(iv) 日本のモダニズム建築に大きな足跡を残した、アントニン・レーモンドによって設計された、群馬県を代表する音楽ホールの一つ。現在の群響の本拠地。<http://www.city.takasaki.gunma.jp/kankou/art/ongakucenter.html>

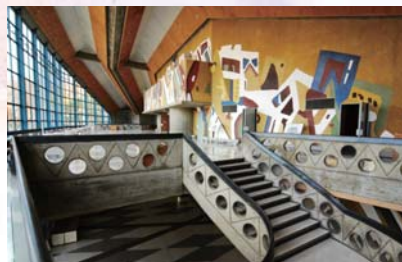
(v) <http://cafe-asunaro.com/>



(ii)



(iii)



(iv)

INTERVIEW

インタビュー

今年で創立70周年を迎える公益財団法人群馬交響楽団は、長く市民に親しまれてきた「音楽のある街 高崎」のシンボリックな存在である。同楽団の音楽監督、指揮者を務める大友直人氏に、現在のオーケストラの活動や今後の方向性、高崎市の音楽文化などについて語っていただいた。

群馬交響楽団、70周年を迎えて

公益財団法人群馬交響楽団
音楽監督・指揮者

大友 直人 氏

日々の演奏を輝きあるものに

群馬交響楽団は、終戦直後の1945年、高崎市民オーケストラとして発足しました。その後は高崎市民の皆様の、音楽を文化として一生懸命支えよう、広げていこうという思いに育まれながら、短期間のうちに発展を遂げ、今年で創立70周年を迎えました。発足時から継続して、移動音楽教室・高校音楽教室のかたちで、高崎市はじめ群馬県の幼児から小中高生向けのコンサートを、日常的に行っています。年間100回以上にも及ぶこの活動をはじめ、定期演奏会、巡回演奏会、名曲コンサートほか多彩な公演を通じて、市民、県民の皆様が親しまれ、生活に溶け込んでいると思います。

全国的にも老舗の、力ある交響楽団として有名であり、高崎市、群馬県の誇りでもあります。私は20代の頃から客演させていただき、3年前から音楽監督、指揮者の役を担っています。素晴らしいメンバーと共に日々、演奏技能の向上に努め、お客様に確かなものを聴いていただくという姿勢で臨み、成果を挙げていると手応えを感じています。

70周年は節目の年ですが、特に何かを変えることはありません。オーケストラにとって、一番大切なのは日常のコンサート活動です。私たちは一回ごとの演奏を、いかに輝きのある魅力あるものとして作り続けるかということに力を注いでいます。オーケストラは何十人も音楽家が集まって、チームで力を発揮するものです。同じメンバーが日々の積み重ねで、色合いを変えながら演奏する。その生きた変化を楽しむことも、オーケストラの醍醐味ではないでしょうか。日常こそが重要です。

ただ、定期公演のプログラム上では70周年を記念して、今まで取り上げたことのない作品も企画しました。例えば11月にはフランスの現代音楽の大家、デュティユーの交響曲第1番という、日本でも演奏機会が非常に少ない作品に取り組みます。またヴァイオリニストで指揮者のオーギュスト・デュメイ氏、ヴァイオリニストの諏訪内晶子氏など、錚々たるゲストも迎え、いつもより華やかな彩りを加えることとなります。



グローバル時代に新たな音楽の創造を

オーケストラの奏でる音楽は、魅力的な素晴らしいもの。この素晴らしい世界を、一人でも多くの市民、県民の方々に、生活の一部として感じていただきたい。音楽と共にある人生の豊かさを味わっていただきたい。それが私の思いです。そのために積極的にコンサートホールに足を運んでもらえるような企画、アイデアを練っていきたくと考えています。特に若年層には、移動音楽教室だけの枠に留まらず、シンフォニーホールなどのより良い環境で音楽を聴く体験もしていただきたい。簡単ではありませんが、音楽のエネルギーとそこから醸される美しさや力強さの魅力をお届けして、発信していこうと思います。

話は広がりますが、ヨーロッパの音楽だったクラシックは、今や世界中に広がり、演奏家もグローバル化の一途をたどっています。超一流のオーケストラに、世界中から国や人種の垣根を越えて人材が集まっている。この時代状況のなか、欧米追従的な日本の音楽界も、変革の時を迎えています。もっとオリジナルな音楽の創造に自信を持って取り組み、チャレンジしていくべきです。創造を活性化させ磨いていければ、真に国際的な評価を得られるでしょう。群馬交響楽団もその流れの中で、広い視野を持って活動したいと考えています。また高崎市には、合唱団を募ればすぐに300名ものメンバーが集まるほどの音楽文化の土壌があります。高崎流で音楽の創り方、楽しみ方をもっと育てれば、素晴らしいムーブメントを起こせるのではないかと期待しています。(談)

群馬交響楽団の公演情報は、下記WEBサイトよりご覧いただけます。

<http://www.gunkyo.com/calendar/>

サンフランシスコにて「J-POP SUMMIT 2015」開催 J●POP SUMMIT



8月7日から9日の3日間、米サンフランシスコにてJ-POP SUMMIT 2015（主催：J-POP SUMMIT 実行委員会）が開催された。J-POP SUMMIT は今回で7回目を迎えるジャパン・ポップカルチャー・イベント。昨年までの市内のジャパントウンー帯を使ったフォーマットから、フォートメイソン・センター、カストロ・シアターと New People シネマ、ユニオン・スクエアの複数会場に場所を移し、音楽、ファッション、映画、アニメ、アート、ゲーム、フード、テクノロジー、IT およびトラベル等の見本市、ショーケース、上映会が行われた。期間中の来場者は約 33,000 人。多くのジャパン・カルチャー・ファンが日本文化に親しんだ。なお当協会は、J-POP SUMMIT 2015 の趣旨に賛同し、協賛・後援を行っている。

7日は市内のランドマークである伝統ある映画館、カストロ・シアターにてオープニング・レセプションが行われた。レセプションには、同時期開催の JAPAN FILM FESTIVAL of San Francisco のスペシャル

ゲストである俳優の浅野忠信氏、アニメーターの森本晃司監督をはじめ、J-POP SUMMIT 出演アーティストや政府関係者等が出席。レセプション後は同シアターで浅野氏の主演映画が上映され、DJ ケン・イシイ氏と森本監督のアニメーションのコラボレーションによる DJ セット等も行われた。



ガチャリック・スピン

8日と9日にはサンフランシスコ湾に面したフォートメイソン・センターにて見本市および様々なジャパン・ポップカルチャー・ショーケースが行われ、日本からは **JAM Project**（ランティス）、**藍井エイル**（ソニーミュージック）、**ガチャリック・スピン**（ビクターエンタテインメント）を含む 10 組超のアーティストが出演した。8日の**ガチャリック・スピン**出演時にはステージ前に約 2,500 名の来場者が詰めかけ、エネルギッシュなパフォーマンスに盛り上がりを見せた後、アンコールコールが巻き起こった。続く**藍井エイル**のパフォーマンス時には来場者の大合唱が起こり、トリを務めた **JAM Project** はベテランの貫録を見せつけ、登場時には盛り上がりは最高潮に。大歓声の中で同日は終了した。各アーティストは 2 日間に渡り精力的にサインや握手会を行い、ファンとの親交を深めた。また、隣接したパビリオンでは 2 日間に渡って、最新の日本のテクノロジーを紹介する IT 系のショーケースが行われた。

一方、ユニオン・スクエア会場では8日と9日に SAKE SUMMIT が開催された。日米の酒蔵メーカーの日本酒の試飲会が行われ、フォートメイソン・センターでもパフォーマンスを披露した一部アーティスト達がミニライブで会場を盛り上げた。



藍井エイル

【出演日本アーティスト】（順不同・敬称略）

- JAM Project ○ 藍井エイル ○ ガチャリック・スピン ○ Faint★Star
- Little Glee Monster ○ FES☆TIVE ○ ケン・イシイ ○ JinnyOops!
- FEMM (Far East Mention Mannequins) ○ YANAKIKU ○ Musubizm 他



JAM Project

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

植村花菜「トイレの神様」

奇跡の一曲に降りてきたもの

浅沼 正人（あさぬま まさと）氏

キングレコード株式会社 上席執行役員 第二クリエイティブ本部長



❖ 最後の一枚

植村花菜の「トイレの神様」と、それが収録されたアルバム「わたしのかけらたち」。音楽業界で三十年以上過ごしてきた私のなかでも、とりわけ印象深い一曲、一枚です。時々、何か不思議な力が働いたかのようにヒットが生まれることがある。この作品は、まさにそういった作品でした。

話は2009年頃に遡ります。植村花菜は2005年にデビューし、社としても育成に注力していましたが、なかなか大きなヒットに恵まれず年数が経ってしまったという状況にありました。こうした結果を受けて、非常に辛いのですが今後を決断する時期にきていました。契約満了の2010年3月以降の再契約は難しい、と所属事務所であるクリアスカイコーポレーションの田口幸夫社長に話しに行きました。ただ、このままフェードアウトするのではなく、最後にアルバムを一枚作って勝負しよう、ということになりました。とはいえ宣伝費もかけられませんが、その時はとりあえず作る、というようなネガティブな心境であることは否認ませんでした。交渉が終了した帰り際、田口社長から、「ちょっと聴いてくれる？」と言われ聴かされた曲が「トイレの神様」のデモでした。

涙が出ました。ネガティブな最後の一枚が、ポジティブなこれからの一枚に変わった瞬間でした。もともとこの曲は、担当ディレクターも植村本人も、それほど大きな支持を得られる曲だとは思っておらず、アルバムの中の一曲というポジションでした。ただ、田口社長だけはこの曲の力を感じていたのだと思います。私に曲を聴かせ、反応を見て田口社長も確信に変わったのだと…。あの時、聴かせてもらわなかったら、その後の大きな展開は無く、隠れた名曲で終わっていたと思います。

❖ 様々な奇跡が重なり合った作品

「トイレの神様」をリード曲にする為には、大きな問題がありました。最後のアルバムになる可能性が高かったため、担当ディレクターが頑張り、リード曲に関しては普段お願いできないような大御所の先生に依頼し、すでに曲が出来上がっていました。無理してお願いをしていたのでリード曲を変えるわけにはいかず、かと言って2曲プロモーションする宣伝費はありません。頭を悩ませていた数日後、作曲家の先生から、どうも植村のイメージに合わないから曲を引き上げさせてくれと連絡があり、「トイレの神様」をリード曲にすることができました。

アルバム作りには寺岡呼人さんをプロデューサーに迎えました。アルバムのコンセプトは植村本人からの提案で、彼女のルーツに迫るものになりました。生まれ育った地元の風景、青春時代の切ない想い、家族との思い出…PVはジーンズ姿の彼女が川沿いでギターをかき鳴らし歌っている姿、まさに、「わたしのかけらたち」のコンセプトそのままです。

ただ、ジャケット写真に関してはコンセプトとは真逆なものになりました。賛否両論ありましたが、私はこれをすごくいい、と感じました。モノクロで興行きがあり、彼女の美しさが引き立っている。当時、植村花菜のイメージは世間的にはほとんど真っ白の状態ですから、ラジオで「トイレの神様」を聴き、興味を示しCDショップでこのジャケットを見たら、間違いなく引き込まれると思いました。このジャケット写真も「トイレの神様」大ヒットの要因の一つだと思っています。

「トイレの神様」は10分近い曲なので、田口社長から短くしたラジオバージョンを作ろうか、という話も出ましたが、私は絶対やめた方がいいと主張しました。この曲は最後まで聴いてもらわないと伝わらない。オンエアを狙うためにだけに3分に縮めて、結果が残せなければきっと後悔すると思いました。結局、9分51秒のフルで行こうと方針が固まりました。

田口社長が、ラジオに強い人脈をお持ちだったことも功を奏しました。田口社長の尽力のおかげで、FM802の朝の番組「HIRO T'S MORNING JAM」で一度オンエアしてもらいました。すると、凄い勢いで問い合わせが相次ぎ、その日の内にもう一度オンエアしてもまだ反響があった。その後、関東ではNACK 5でオンエアした際も同様の反響を呼びました。これをきっかけに、その後はどんどん露出が増え、その年に紅白初出場を果たしました。

この歌は、愛が詰まった歌じゃないですか。誰もが持っている子ども時代のおじいちゃん、おばあちゃんとの思い出を蘇らせ涙させます。社内の試聴会でも、社長を含め一定以上の年齢層から相当な支持がありました。この歌はラジオからヒットしました。車に乗っている、ある程度年齢の高い人達がブレイクのきっかけになり、若年層にも広がっていき、子供から高齢の方まで口ずさまれるヒット曲になりました。

もし、契約終了の話の時、「トイレの神様」を聴いていなかったら…

もし、作曲家の先生が曲を引き上げていなかったら…

もし、あのビジュアルが無かったら…

もし、ラジオエディットバージョンを作っていたら…

いろいろな奇跡が重なって、この曲はヒットしたと思っています。まさに、「トイレの神様」が降りてきたのではないかなと半分本気で思っています。（談）

作品データ

○植村花菜「トイレの神様」 ○作詞：植村花菜・山田ひろし ○作曲：植村花菜
○編曲：寺岡呼人 ○2010年3月10日発売 ミニアルバム「わたしのかけらたち」収録、
2010年11月24日シングルカット ○キングレコード
○2010年8月（アルバム「わたしのかけらたち」）・2011年1月（シングル）ゴールドディスク認定 ○2014年1月ミリオン認定（有料音楽配信 シングルトラック）
○第25回日本ゴールドディスク大賞「特別賞」受賞

2015年第2四半期（4月～6月）および上半期有料音楽配信売上実績について

2015年第2四半期は、数量で前年同期比89%の4,513万ダウンロード、金額で前年同期比104%の114億1,600万円となった。
この結果、2015年度上半期の累計では、数量で前年比92%の9,269万6,000ダウンロード、金額で前年比105%の228億8,100万円となった。

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2015年4月～2015年6月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	2,188	66%	195	69%
	Ringback tones	11,167	81%	756	79%
シングルトラック	PC配信・スマートフォン	27,537	98%	4,368	98%
	フィーチャーフォン	1,591	50%	410	49%
	小計	29,128	93%	4,777	90%
アルバム	PC配信・スマートフォン	2,146	121%	2,299	116%
	フィーチャーフォン	0	0%	0	0%
	小計	2,146	120%	2,299	115%
音楽ビデオ	PC配信・スマートフォン	439	92%	121	95%
	フィーチャーフォン	62	55%	20	53%
	小計	501	85%	141	86%
その他	サブスクリプション (PC配信・スマートフォン)			2,702	138%
	サブスクリプション (フィーチャーフォン)			1	88%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)			545	173%
	小計	0	-	3,248	143%
	総合計	45,130	89%	11,416	104%

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2015年1月～2015年6月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	4,674	67%	415	69%
	Ringback tones	22,971	82%	1,557	77%
シングルトラック	PC配信・スマートフォン	56,142	105%	8,943	104%
	フィーチャーフォン	3,428	47%	878	45%
	小計	59,569	98%	9,821	93%
アルバム	PC配信・スマートフォン	4,400	116%	4,732	115%
	フィーチャーフォン	0	0%	0	0%
	小計	4,400	116%	4,732	114%
音楽ビデオ	PC配信・スマートフォン	950	94%	263	96%
	フィーチャーフォン	132	53%	42	50%
	小計	1,082	86%	305	85%
その他	サブスクリプション (PC配信・スマートフォン)			5,041	143%
	サブスクリプション (フィーチャーフォン)			2	67%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)			1,008	160%
	小計	0	-	6,051	146%
	総合計	92,696	92%	22,881	105%

注：数量・・・ダウンロード回数

Monthly Production Report

2015年7月度レコード生産実績

7月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比120%の2,159万枚・巻、金額で同109%の220億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比123%の1,641万枚・巻、金額で同110%の159億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比113%の518万枚・巻、金額で同106%の61億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			7月実績						2015年1月～2015年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
シ	8cmCD	邦	2	0	46%	1	0	49%	21	0	153%	12	0	129%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	194%	0	0	192%
		計	2	0	45%	1	0	47%	21	0	153%	12	0	130%
ン	12cmCD	邦	5,467	33	104%	4,146	26	98%	33,105	33	105%	24,422	22	105%
		洋	3	0	26%	2	0	16%	36	0	6%	15	0	4%
		計	5,470	33	104%	4,148	26	98%	33,141	33	104%	24,437	22	104%
グ	小計	邦	5,468	33	104%	4,147	26	98%	33,126	33	105%	24,434	22	106%
		洋	3	0	25%	2	0	16%	36	0	6%	15	0	4%
		計	5,472	33	104%	4,149	26	98%	33,162	33	104%	24,449	22	104%
ル	12cmCD アルバム	邦	9,201	56	159%	9,921	62	123%	52,904	53	110%	71,199	65	108%
		洋	1,575	10	73%	1,641	10	83%	12,981	13	70%	12,186	11	70%
		計	10,776	66	136%	11,562	73	115%	65,885	66	99%	83,385	76	100%
CD 合計	邦	14,670	89	133%	14,068	88	114%	86,030	86	108%	95,633	88	108%	
	洋	1,578	10	73%	1,643	10	83%	13,017	13	68%	12,200	11	69%	
	計	16,248	99	123%	15,711	99	110%	99,047	99	101%	107,834	99	101%	
アナログ ディスク	邦	44	0	934%	70	0	1057%	206	0	280%	354	0	262%	
	洋	32	0	241%	56	0	254%	146	0	195%	249	0	244%	
	計	76	0	421%	126	1	441%	352	0	237%	603	1	254%	
カセット テープ	邦	56	0	67%	47	0	67%	509	1	79%	426	0	81%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	158%	0	0	118%	
	計	56	0	67%	47	0	68%	509	1	79%	427	0	81%	
その他	邦	18	0	157%	22	0	166%	102	0	76%	152	0	89%	
	洋	8	0	67%	18	0	56%	111	0	91%	243	0	91%	
	計	26	0	111%	40	0	89%	213	0	83%	395	0	90%	
合計	邦	14,788	90	133%	14,207	89	114%	86,846	87	108%	96,566	88	108%	
	洋	1,618	10	74%	1,717	11	84%	13,275	13	69%	12,693	12	70%	
	計	16,406	100	123%	15,924	100	110%	100,121	100	101%	109,258	100	101%	

● 音楽ビデオ

			7月実績						2015年1月～2015年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	3,723	72	97%	3,577	59	87%	26,359	79	99%	27,367	65	93%	
	洋	77	1	92%	78	1	86%	654	2	65%	805	2	70%	
	計	3,800	73	97%	3,655	60	87%	27,013	81	98%	28,172	67	93%	
Blu-ray Disc	邦	1,371	26	204%	2,429	40	161%	6,167	19	161%	13,766	33	132%	
	洋	9	0	141%	24	0	150%	108	0	124%	242	1	103%	
	計	1,381	27	204%	2,453	40	161%	6,274	19	160%	14,008	33	131%	
テープ・その他		0	0	161%	0	0	257%	1	0	75%	2	0	71%	
合計	邦	5,095	98	113%	6,006	98	107%	32,527	98	107%	41,135	98	104%	
	洋	86	2	96%	102	2	96%	761	2	69%	1,046	2	76%	
	計	5,181	100	113%	6,108	100	106%	33,288	100	105%	42,181	100	103%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			7月実績						2015年1月～2015年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			16,406	76	123%	15,924	72	110%	100,121	75	101%	109,258	72	101%
音楽ビデオ			5,181	24	113%	6,108	28	106%	33,288	25	105%	42,181	28	103%
合計	邦		19,882	92	127%	20,213	92	112%	119,373	89	108%	137,701	91	106%
	洋		1,705	8	75%	1,819	8	85%	14,037	11	69%	13,739	9	70%
	計		21,587	100	120%	22,032	100	109%	133,409	100	102%	151,440	100	102%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			7月実績						2015年1月～2015年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD			6,068	73	97%	7,408	60	78%	42,854	76	93%	57,672	62	84%
テープ・その他			2,236	27	93%	4,946	40	80%	13,582	24	108%	35,581	38	102%
合計			8,303	100	96%	12,354	100	79%	56,436	100	96%	93,253	100	90%

● オーディオ/ビデオ合計

			7月実績						2015年1月～2015年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			16,406	66	123%	15,924	56	110%	100,121	64	101%	109,258	54	101%
ビデオ			8,303	34	96%	12,354	44	79%	56,436	36	96%	93,253	46	90%
合計			24,709	100	112%	28,278	100	94%	156,558	100	99%	202,511	100	96%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦楽					
アルバム	トリプル・プラチナ	DREAMS COME TRUE THE BEST！私のドリカム	DREAMS COME TRUE	2015.07.07	ユニバーサル ミュージック
	プラチナ	KIS-MY-WORLD	Kis-My-Ft2	2015.07.01	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
		魂リク	福山 雅治	2015.04.08	ユニバーサル ミュージック
	ゴールド	BEST of TUBEst ～ All Time Best ～	TUBE	2015.07.15	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
		SUPER Very best	V6	2015.07.29	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
シングル	トリプル・プラチナ	太陽ノック	乃木坂46	2015.07.22	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	ダブル・プラチナ	ドリアン少年	NMB48	2015.07.15	よしもとアール・アンド・シー (laugh out loud! records)
	プラチナ	Summer Madness	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2015.07.08	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	ゴールド	バリ ハビ	ジャニーズWEST	2015.07.29	ジャニーズ・エンタテイメント
		ANTI-HERO	SEKAI NO OWARI	2015.07.29	トイズファクトリー
		Cha-Cha-Cha チャンピオン	Sexy Zone	2015.07.01	ポニーキャニオン
		Angelic Angel / Hello,星を数えて	μ's / 星空凛 (CV.飯田里穂), 西木野真姫 (CV.Pile), 小泉花陽 (CV.久保ユリカ)	2015.07.01	ランティス
		SUNNY DAY SONG / ? ←HEARTBEAT	μ's / 絢瀬絵里 (CV.南條愛乃), 東條希 (CV.楠田亜衣奈), 矢澤にこ (CV.徳井青空)	2015.07.08	ランティス
		僕たちはひとつの光 / Future style	μ's / 高坂穂乃果 (CV.新田 恵海), 南ことり (CV.内田彩), 園田海未 (CV.三森すずこ)	2015.07.15	ランティス
		シュガーソングとビターステップ	UNISON SQUARE GARDEN	2015.05.20	トイズファクトリー
	ビデオ	ダブル・プラチナ	ARASHI LIVE TOUR 2014 THE DIGITALIAN	嵐	2015.07.29

※日付は発売日

有料音楽配信
「シングルトラック」

邦楽					
4 ミリオン	キセキ	GREEEEEEN	2008.06.04	ユニバーサル ミュージック	
トリプル・プラチナ	赤い糸	コブクロ	2008.11.19	ワーナーミュージック・ジャパン	
	何度でも	DREAMS COME TRUE	2009.03.21	ユニバーサル ミュージック	
プラチナ	さくら ～あなたに出会えてよかった～	RSP	2009.02.25	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)	
	Beautiful	Superfly	2015.05.08	ワーナーミュージック・ジャパン	
ゴールド	君という花	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2003.10.16	ソニー・ミュージックレーベルズ (キューンミュージック)	
	ピリーヴ	GREEEEEEN	2015.02.25	ユニバーサル ミュージック	
	Water Me	BONNIE PINK	2007.06.06	ワーナーミュージック・ジャパン	
	Gamble Rumble	m.o.v.e	2004.11.12	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ	
	DIVE TO BLUE	L'Arc ～ en ～ Ciel	2006.09.27	ソニー・ミュージックレーベルズ (キューンミュージック)	

洋楽

ゴールド	テイク・オン・ミー	a-ha	2004.12.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	バスケット・ケース	グリーン・デイ	2004.12.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	マイノリティ	グリーン・デイ	2004.12.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	アップタウン・ファンク feat. ブルーノ・マーズ	マーク・ロンソン	2014.11.10	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル)

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®, シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)
 ※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰
 ※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
 ※※※3ミリオン以降、100万毎に認定

協会からのお知らせ

日本オーディオ協会が主催する（当協会後援）「オーディオ・ホームシアター展2015」が今年も開催となります。今年のテーマは、「観る！聴く！触る！体験しようハイレゾと4Kシアター」。高音質・高画質の音楽や映像を体感できる展示会です。ぜひ、ご来場ください。

「オーディオ・ホームシアター展2015
～観る！聴く！触る！体験しようハイレゾと4Kシアター～」
会期：2015年10月16日（金）～18日（日）
会場：TIME（タイム）24（東京都江東区青海2-4-32）



詳細は公式サイトをご覧ください。URL：<http://www.oto10.jp/>



THE RECORD No.670 2015年9月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2015年9月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今年は戦後70年という節目を迎えたことから、様々なメディアで戦争と平和に関する特集を目にしました。今回取材にご協力いただいた、群馬交響楽団は創立70周年。前身である高崎市民オーケストラの発足が、終戦からわずか3カ月後ということに驚嘆するとともに、あらゆる国の様々なジャンルの音楽に触れられる平和な時代の有り難さを思います。(M)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (<http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。